

# 食育だより

添田町立添田中学校  
栄養教諭 村上 弘子

田川郡学校給食会では、7月8日に学校給食担当者研修会を行い、北九州市立大学教授 中島俊介先生を講師にお招きし、「食で開く地域の文化～幸せの食コミュニケーション」と題して講演していただきました。健康な食と心を育むためにはまず「早起き」が大切であること、「挨拶・雑談・笑顔」があればコミュニケーションがスムーズにとれること等をお話していただきました。夏休みには、福智町の給食センターをお借りして調理員と栄養士が「スチームコンベクションオープン」の使い方の研修をしました。新しい調理機器の活用方法を知り、バラエティに富んだ料理をおいしく安全に作るための調理技術向上に役立つ研修会となりました。10月には、福岡県学校給食料理コンクールが開催されます。今年度は糸田町学校給食センターが田川郡代表として出場予定です。

**11月18日 田川郡学校給食研究発表会が福智町立伊方小学校で開催されます。**昨年度からの取り組みの成果が発表されますので、ぜひ、ご参加ください。

# 養護だより

福智町立弁城小学校  
養護教諭 井上 啓子

田川郡学校保健会では、今年度も研修会と研修視察を計画しており、7月6日には第1回目の研修会を行いました。講師に田川薬剤師会の田中洋介先生をお迎えして、「学校保健と薬剤師の関わり」と題してご講演いただきました。学校の環境衛生活動や学校で使用する医薬品について詳しくお話をうかがうことができました。また、熱中症の対応についても具体的にアドバイスをいただき、即、執務に活かすことができる有意義な研修会となりました。

各部ごとの養護部会では、次のように研修テーマを設定し、定期的な研修を継続的に行っています。

- < 1部 > 保健指導に役立つ資料づくりと交流
- < 2部 > 保健学習・保健指導に役立つ性教育に関する資料づくり
- < 3部 > 健康相談について（関係機関との連携）… 2年次
- < 4部 > 執務の見直し（月ごとにテーマを設定し、情報交換）



## 第40回福岡県教育研究所連盟研究発表協議会のお知らせ

表記の研究発表会を下記のように開催いたします。県内各地での貴重な教育実践が発表されますので、先生方の多数のご参加をお願いいたします。

- 期日・会場 平成23年11月17日(木) 福岡県教育センター
- 実践発表 県内各教育研究センター及び教育研究所より一実践を発表
- 記念講演 《講師》文部科学省初等中等教育局 視学官 村尾 崇 先生

## 平成23年度 田川郡教育研究所 職員

所長 縄田 哲也 (赤中学校校長)	副所長 太田 亮一 (添田小学校校長)
幹事 平野 志津夫	書記 松下 香織
主任研修員 船瀬 安仁 (弁城小学校教頭)	主任研修員 中園 仁美 (方城中学校教頭)
研修員 中山 謙一 (川崎小学校教諭)	研修員 小西 良平 (大任小学校教諭)
研修員 荒尾 和幸 (方城中学校教諭)	研修員 中西 由恵 (香春中学校教諭)

# 田川教育研究所 新報

第102号

平成23年10月1日  
発行所 田川郡教育研究所  
http://www.tagawa-lab.sakura.ne.jp/

## 就任のご挨拶

田川郡教育研究所 所長 縄田 哲也

本年度、本教育研究所の所長を拝命いたしました赤村立赤中学校の縄田でございます。昨年度は、第39回福岡県教育研究所連盟研究発表協議会を本教育研究所が担当させていただき、郡内の小中学校の先生方のご協力で成功させることができました。本当にありがとうございます。

さて、今年度の教育研究所の活動でございますが、今年度より新学習指導要領が小学校は完全実施、中学校は来年度から実施というこの時期に、「学習指導と評価に関する研究」をテーマに調査研究を行います。また、今年度より、財政状況が大変厳しいため、これまで行っていた教育研究所の事業を多少改編させていただきました。

今後とも、先生方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 就任のご挨拶

田川郡教育研究所 副所長 太田 亮一

本年度、副所長を拝命いたしました添田小学校の太田亮一です。田川郡の教育に多大な貢献を果たしてきた研究所の一員として、微力ながら力を尽くして参りたいと思っております。

さて、本研究所は昨年度、当事者はもとより関係者の皆様のご尽力により福岡県教育研究所連盟発表協議会を成功させることができました。その大きな節目を迎えたこともあり、今年度は、これからの研究所の役割をもう一度問い直すところからスタートして参りました。田川の課題は様々ありますが、ターゲットを絞りながら研究所の力を集中していきたいと考えております。

田川郡教職員関係者の皆様方に、暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

# 小・中学校研究員、担当校長の紹介

小 学 校			中 学 校		
教科名	研究員名(学校名)	担当校長名(学校名)	教科名	研究員名(学校名)	担当校長名(学校名)
国 語	有竹 真吾 (大任)	桑野 徳隆 (金田)	国 語	浦田 賢子 (赤池)	小田 玲子 (大任)
社 会	稲富 博明 (津野)	高瀬 光一 (川崎)	社 会	奥村 利恵 (糸田)	白石 俊幸 (赤池)
算 数	長尾 公仁 (上野)	國本 裕介 (真木)	数 学	今道 憲治 (鷹峰)	縄田 哲也 (赤)
理 科	馬場 利文 (弁城)	松村 重治 (赤)	理 科	中牟田篤司 (鷹峰)	佐々木英一 (勾金)
生活・総合	野田 大樹 (勾金)	立山 俊治 (津野)	音 楽	綾部 光浩 (大任)	岡本 豊俊 (添田)
音 楽	山口由一郎 (今任)	永水 正博 (弁城)	美 術	井植 公一 (方城)	友松 秀樹 (鷹峰)
図 工	太田 美穂 (添田)	村上奈美代 (中津原)	保 体	佐々木佳子 (添田)	行徳 昭彦 (糸田)
家庭科	日高 謹子 (川崎東)	宮崎 陽子 (川崎東)	技 術	大隈 淳二 (池尻)	鍋藤 聖一 (方城)
体 育	西田 貴治 (採銅所)	角崎 計介 (落合)	家 庭	林 記代 (添田)	鍋藤 聖一 (方城)
道 徳	石井 雄二 (添田)	中村 英子 (上野)	外国語	中村 廣 (勾金)	小原 孝司 (金田)
英語活動	西畑 いせ (池尻)	本田 義隆 (勾金)	道 徳	真武 祐二 (大任)	小田 玲子 (大任)
特 活	大久保利詔 (市場)	井上 憲治 (伊方)	総 合	横光 雄介 (香春)	縄田 哲也 (赤)
			特 活	宮川 和昭 (添田)	行徳 昭彦 (糸田)

# 学力向上実践校の紹介【小学校】

## どの子ども「わかる」「できる」算数科学習指導の取組

大任町立大任小学校

### ○ はじめに

本校では志水メソッドを用いて、1単位時間がどの子ども「わかる」「できる」授業となるように、教材の解釈、子どもの学力の分析、指導方法の3つの面から、シンプルに、より効果的、合理的に再構成し、学力の向上をめざしている。

### 1 めざす授業

1単位時間の中で子どもは新しい算数の問題と出会い、問題から見通しを立て、既習の数理をもとに自分なりの考えで問題を解決しようとする。これらの考えを交流し焦点化しながら「新しい算数的内容」を作り出し、どの子どもそれらを道具として使い、問題が解けるようになることをめざしている。

### 2 本校の課題

- (1) 教材の解釈から
  - ・既習と子どもの実態から、本時学習の指導のポイントが明確に設定されていない。
- (2) 子どもの学力の分析から
  - ・既習学習を問題解決の道具として十分使いこなせてない。
  - ・思考力・表現力を十分発揮していない。
- (3) 指導方法の面から
  - ・1単位時間の中に、学習内容が絞り切れていないため、45分で終わることができない。
  - ・授業の流れやつまづきを予想していないため、授業のテンポが悪い。

### 3 本校の取組

- (1) 出会う問題に既習との関連から解決の糸口を持たせる。(ヒント包含法)
- (2) 自力解決を助け、即時評価、授業のテンポアップを図る。(○付け法)
- (3) 交流場面で焦点化、共有化を図る。(意味づけ復唱法)
- (4) 学習したことを道具として使いこなせる。(適応問題定着法)

### 4 具体的な実践

- (1) 低学年・高学年部会を設け、全職員が所属する。
- (2) 校内研修は、ワークショップ型で全員が参加実践できるようにしている。各学年、年間2回の公開授業を行う。
  - ・指導案は、略案形式で提案する。
  - ・事前指導は模擬授業形式をとり、指導案を訂正していく。
  - ・公開授業を授業交流の場としている。(小中連携の取組)
- (3) 顧問として、愛知教育大学の志水宏先生を招聘し、毎年2回、授業診断・講演等の指導を受けている。

# 学力向上実践校の紹介【中学校】

## 小中一貫教育を目指す学校教育の改善

赤村立赤中学校

### 1 一貫教育の目標

赤小中学校の児童生徒に対して「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む、つまり「生きる力」を育成することによって、社会の中で自立的に生きるための基礎と、社会の担い手として必要とされる資質を養うことを目的とする。

### 2 本年度の取組

#### (1) 乗り入れ授業の実施

- ①小学校高学年の授業において専門性を生かし、補助教員として参加する。
  - < 国語(書写) 音楽(歌唱) 体育(水泳) >
- ②小学校中高学年の授業において専門性を生かし、教科担任として授業を行う。
  - < 理科(月と星) 体育(ボール運動) >

#### (2) 合同学校行事の実施

- ①体育大会  
小中学校で練習を重ねた演技や競技種目に加え、小中学生が一緒になって行う種目を取り入れることで、9年間を見通した体力づくりを行っている。
- ②村民文化祭  
赤村文化祭に参加し、全校合唱を披露することで自尊感情の向上を目指している。

#### (3) 授業改善研修会の実施

- ①小学校の授業研究への参加  
小学校の授業研究に参加し、きめ細かい小学校の指導方法を学ぶとともに、授業の基本である「板書・発問・指示」のあり方を工夫する。
- ②校内授業研究  
「めあて」と「まとめ」が整合した授業、生徒の主体的な思考の流れ「一人学び・交流・まとめ」を大事にする授業づくりを確立している。

### 3 中学校独自の取組

#### (1) 規範意識の向上

- ①ダメなものはダメ  
校則違反、授業妨害など守らなければならないことをきちんと守らせる指導の徹底を全職員で図っている。
- ②ブレナイ態度  
一度決めたことは徹底して取り組む姿勢。全職員一丸となって問題解決・予防に関わる雰囲気全職員集団で共有している。

#### (2) 家庭学習の定着

- ①家庭学習ハンドブックの活用  
学校独自で作成した家庭学習ハンドブックを活用し、家庭学習の方法、すすめ方、大切さを培っている。
- ②自学・漢字・数マラ・英マラの取組  
全校生徒に毎日4種の宿題を義務づけている。